

誘導灯・非常用照明器具劣化状態診断チェックシート：器具

分類	チェック項目		区分	診断結果
使用状況・環境	1. 使用期間は	8年以上	B	
		12年以上	A	
	2. 累積点灯時間は30000時間以上※1		A	
	3.	累積故障率は10%以上	A	
		ここ2、3年故障による取替台数が増えている。	B	
	4. 室内の年間平均温度は25°C(又は、器具の周囲温度30°C)以上になっている。		B	
	5. 電源電圧が高い。(定格入力電圧の103%以上)		B	
	6. 取付部に常時振動が加わっている。		B	
	7. 使用場所に水気・湿気が多い。		B	
	8. 使用場所に腐食性ガス(塩害を含む)・じんあいが多い。		B	
	9. 最近雷による被害を受けたことがある。		B	
	10. 省エネのためランプを外した状態で通電している、又はしたことがある。		B	
	11. ランプ・グロースターラの寿命時に長期間放置している、又はしたことがある。		B	
	12. 建築化照明(光天井など)内の器具取付間隔は、約30cm以下である。		B	
ランプ	1. ランプのちらつきが大きく感じるようになってきた。		B	
	2. ランプを交換しても正常に点灯しないものがある。		B	
	3. ランプを交換しても点灯するまでに時間が長くかかるものがある。		B	
	4. ランプを交換しても他のランプより極端に暗いものがある。		B	
	5. ランプの寿命が以前より短くなったり、黒化が早くなっている。		A	
器具本体	1. 本体、反射板の汚れは、掃除をしてもとれない、又は変色している。		B	
	2. 器具内の電線(安定器のリード線を含む)に硬化、又はやせがある。		B	
	3. 器具内の電線(安定器のリード線を含む)にひび割れ、芯線露出などがある。		A	
	4. 塗装面にふくれ、ひび割れなどがある、又はさびがでている。		B	
	5. 焼け臭いにおいがする。		A	
	6. 照明器具が原因で漏電ブレーカーが動作することがある。		A	
	7. 今までに照明器具から発煙・油漏れがあった。		A	
	8. 可動部分(開閉箇所、調節箇所など)の動きが鈍い。		B	
	9. ランプの固定が悪く、ぐらつく。		B	
	10. 分岐回路の絶縁抵抗は、0.2MΩ以下(200V)又は0.1MΩ以下(100V)である。		A	
	11. 器具内部の部分にほこりの付着、堆積がある。		B	

分類	チェック項目		区分	診断結果
安定器	1. 銘板又はケースの塗装が変色している。		B	
	2. ブッシングの変色・硬化が著しい。		B	
	3. ケースに著しいさびが出ている。		B	
	4. 内部の充填物が流れ出している。		A	
	5. ケースに変形又は著しい変色が生じている。		A	
コントロールユニット	1. 使用期間は	8年以上	B	
		12年以上	A	
	2. 点検スイッチを引いても非常点灯に切替わらないことがある。		B	
	3. 点検スイッチを引いても非常点灯に切替わない。		A	
	4. 銘板にはがれ、変色が見られる。		B	
部品	5. ユニットケース内に、ほこりの付着・堆積が見られる。		B	
	1. ソケットの接触部分に変色・さびがある。		B	
	2. ソケットに変形・ひび割れ・破損などがある。		A	
	3. つまみねじなどにひび割れ・破損などがある。		B	
	4. 端子台に変色・変形・破損などがある。		B	
診断結果	5. ソケットが黒く焦げたようになっている。		B	
	6. ソケットの接触子、ばねなどが劣化している。又は、可動部の動きが悪い。		B	
	7. コンデンサケースに変形・ふくらみ・油漏れがある。(安定器付属のものを含む)		A	
	8. スイッチに異常がある。		B	
	9. 点検スイッチの引きひもが切れている。		B	
診断メモ	10. 充電表示灯(緑色)が点灯していない。		A	
	区分Aの○印の合計数		個	
診断メモ	区分Bの○印の合計数		個	
	診断の年月日	年　　月　　日	診断担当者	印
診断場所				
診断対象器具	器具名			台数 計　　台
診断メモ	内部チェックを行った器具名			台数 計　　台